

相談支援・社会復帰・民間団体ワーキンググループ 整理票

項目	施策・取組(●:施策、○:取組)	現状	課題・問題点	求められる施策等
相談支援・社会復帰・民間団体WG				
1 相談支援等の推進				
行政等における相談支援等				
保健所・精神保健福祉センターにおける相談支援等	<ul style="list-style-type: none"> ●精神保健福祉センター、保健所における相談支援(精神保健相談、健康増進事業) ●依存症家族対策支援事業 ●アルコール依存症に対する総合的な医療の提供に関する研究(厚労科研費) ○保健所をハブとした地域ネットワークの構築(愛知県衣浦東部保健所) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆(衣浦東部保健所では)アルコールの相談というのはほとんどなく、時々警察から、泥酔者の対応について、相談がある程度であった。市の方でもほとんど相談はなかった。 ◆最初に酒害相談に訪れるのは家族が多い。 ◆どこに相談したらいいかわからない、たらいまわしにされる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆(衣浦東部保健所では)地域連携を始めて以後、相談件数は年々増えている。 ◆関係者であっても、知識がないため相談を受けられない。 ◆家族を治療の糸口とし、早期治療につなげることが必要。 	
専門機関等における相談支援等	<ul style="list-style-type: none"> ●アルコール依存症に対する総合的な医療の提供に関する研究(厚労科研費) 		<ul style="list-style-type: none"> ◆関係者であっても、知識がないため相談を受けられない。 	
民間団体における相談支援等	<ul style="list-style-type: none"> ●アルコール依存症に対する総合的な医療の提供に関する研究(厚労科研費) ○酒害相談及び酒害相談事業養成講座(断酒会) ○保護観察対象者への教育・相談支援(断酒会・AA) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆保健所の酒害者家族相談会の参加人数が減少傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆酒害相談内容の充実と一貫性が必要 	
2 社会復帰の支援				
(1)就労の支援				
(2)その他の支援				
	<ul style="list-style-type: none"> ●一般改善指導におけるアルコール依存回復プログラム ●執行猶予者に対するアルコール依存介入プログラム ●アルコール依存症に対する総合的な医療の提供に関する研究(厚労科研費) 			

3 民間団体の活動に対する支援

(1) 自助団体の活動に対する支援

本人		<ul style="list-style-type: none"> ◆自助団体の構成人数が減少傾向にあり、活動も停滞傾向にある。 ◆一般だけでなく、専門家にも、自助団体の認知度が低い。 ◆行政機関が自助団体を実感として知らないというようなところもある。 ◆自助団体は単なる患者会ではなく、独自の治療構造を持つ社会資源である。 ◆一般に対する酒害啓発等の活動を会費等で賄うには限界がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆専門医療から自助団体へつながらない。医療機関での再入退院を繰り返す抱え込みが起きている。 ◆自助団体の役割や実態について、援助者が実際に体験する機会を持つことが増えていくと良いのではないか。 ◆行政との連携による啓発活動の支援をお願いしたい。 ◆自助活動の会場等確保の支援 	
家族		<ul style="list-style-type: none"> ◆最初に酒害相談に訪れるのは家族が多い。 ◆自助グループへの参加も家族の主導によることが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆家族を治療の糸口とし、早期治療につなげる必要がある。 ◆家族の自助活動の会場等確保の支援 	

(2) その他の団体の活動に対する支援

回復施設	●依存症回復施設職員研修事業			
その他				